

【模範解答】

一般的に、「才能」という言葉は「成功」という言葉と結びつきやすい。年収1000万円を達成する、本を出版する、といった具合に、それぞれの人が抱える成功の形はまばらなものであるが、達成させる人の少なさから「やっぱり才能がないとダメだね…」と囁かれることが多いのだろう。では、才能とはどういった意味を持っているのだろうか。

スマイルズが著した『自助論』は“世界一やる気が出る本”として有名で、この本には世界の偉人たちがどのように才能を発揮し、成功をおさめてきたかが記されている。例えば、革命家であるナポレオンは毎日4時間しか睡眠をとらず、捻出した時間で策を練り数々の偉業を成し遂げた。また、音楽家のベートーヴェンは、弟子が演奏会前に神頼みしている姿を見て、「神に頼るとは何事か。自らの手で切り開け」と指摘し、日ごろの努力の大切さを説いた。さらに、万有引力を発見した科学者ニュートンも、これまでの成功の理由を問われた際、「いつもその問題について考え続けていたからだ」と答え、目標のために膨大な時間を割く大切さを示唆している。

以上より、才能とは自己を律して努力を継続する力のことだと私は考える。私見であるが、上記の才能は決して特別な人のみに与えられるものではなく、誰もがその才能の種を持っているのではないだろうか。自分を信じ、一意専心で取り組む覚悟さえ決めれば、その瞬間から才能は開花したと言えるだろう。

(599字)

